



ぜひご家庭でもお読みください

夢を力に変える人 No.7

循環、を合言葉に つながる人と地域の輪

特定非営利活動法人
花と緑のネットワークとよなか



● 阪急阪神
未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

● ソーシャル・ピープル
インタビュー

アルビニスト 野口 健さん

● グループ従業員の
ボランティア活動レポート

ソーシャルグッツ
読者プレゼント

詳しくは裏表紙へ



阪急阪神ホールディングスグループ



こちら事務局

皆さまの募金を市民団体にお届けしました! 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」2015年度収支報告

皆さまの募金を基に阪急阪神沿線の市民団体を助成する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」。基金設立から7年目となる2015年度は、阪急阪神沿線の市民団体14団体に、総額420万円の助成金(阪急阪神ホールディングスからの同額上乘せをあわせて840万円)をお届けしました。皆さまの募金が増えれば、多くの市民団体に助成できますので、今後ご協力お願いいたします!

2015年度 収支報告 (2015年4月1日~2016年3月31日)

2014年度末残高 2,110,838円

収入総額 4,473,334円

支出総額 4,200,000円

2015年度末残高 2,384,172円

支出総額の420万円を市民団体14団体へ寄付。(これに阪急阪神ホールディングスからも同額を上乘せ寄付しています)詳しくは、プロジェクトHPの従業員向け申請書ダウンロードページをご覧ください。

info



● 阪急阪神 未来のゆめ・まち基金とは ●

グループ従業員から寄付をつのり、会社とともに、地域の市民団体を応援する制度です。1口89円からご参加いただけます。皆さまのご参加お待ちしております!

お届けした募金の使い道は?市民団体の熱いプレゼンを聞こう! 「第7回ゆめ・まち基金 助成報告会」参加者募集

上記の助成対象となった助成先14団体に、活動内容や助成金の使い道、今後の抱負など、熱い思いを語っていただきます。皆さまの募金がどのように活用されているか、ぜひ確かめに来てください。

■ 内容

事務局から第7回助成についての報告(約10分)
助成対象団体による活動紹介(約10分×7団体)

■ 日時・会場

第1回 9月6日(火)16:30~18:00(阪神電気鉄道 本社ビル 10Fホール)
第2回 9月8日(木)18:30~20:00(阪急電鉄 本社ビル 1Fエコルテホール)

※各日に登壇する団体名は、下記URLの従業員向けページ内のTopicsをご参照。
※当日は名刺・社員証など、お名前の分かるものをお持ちください。

■ 申込方法

件名を「助成報告会 参加申込」として、メール又はFAXで、①参加日②所属会社・部署名③氏名(フリガナ)④電話番号⑤交流会の参加希望の有無⑥従業員又はOBの区分を、下記事務局までお送りください。

入院中の子ども達に笑顔を届ける臨床道化師として活躍する「日本クリニックラウン協会」、武庫川の保全・活用・情報発信に注力する「武庫川がっこう」など、助成対象団体の活動は様々。あなたの知らない世界が必ずあります!1~4ページでご紹介した、4団体も登場。基金未参加の方も、ぜひお気軽にお越しください。



武庫川がっこう

(特非)日本クリニックラウン協会

社会貢献
ポイント
5pt進呈!

終了後の交流会
(約30分)にも
ぜひご参加を!

ソーシャルグッツ
読者プレゼント

5名様に
プレゼント



手摘みの紅茶セット
(ストレート・レモンダラス)



ストレートとレモンダラスの紅茶2種類をセットでお届け。夏にぴったりの爽やかな味わいです。

ネパールの人々を支える
フェアトレードの紅茶

昨年起こった大地震の爪痕も生々しいネパール...この国の経済自立をフェアトレードで支援する団体ネパリーバザーの紅茶セットです。ヒマラヤ山脈のふもとの紅茶農園で、丁寧に手摘みされた最高級の茶葉。ティーパックは、茶葉が開きやすいテトラ型です。皆さんも美味しく気軽にティータイムを楽しみながら社会貢献してみませんか?

お問合わせ/有限会社ネパリーバザー
通販サイト/ <http://www.verda.bz/>
価格/1,166円(税込) [ストレート・レモンダラス各583円(税込)]

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「紅茶プレゼント希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2016年7月31日(日)

編集後記

はじめまして!新メンバーの船本です。恥ずかしながらこれまで社会貢献に対する意識が低かった私ですが、今後は勉強・経験を重ね、皆様にもご紹介できるよう頑張ります。(船本健太郎)



U-30清掃ボランティアを開催しました!自分たちの手で綺麗にした海辺で行うBBQは、普通のBBQより楽しさがアップ!休日にも関わらずご参加いただいた皆様、ありがとうございました!(朝山千春)



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)

shakai@hankyu-hanshin.co.jp

TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174

URL: <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/>

※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは「未来にわたり住みたいまち」づくりを目指し、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組み当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索

夢を力に 変える人

No.7



特定非営利活動法人 花と緑のネットワークとよなか

循環、を合言葉に つながる人と地域の輪

食物が土に還り、その土がまた食物を育てる…そんな理想的なリサイクル社会を支えるべく豊中市を拠点に活動するのが「花と緑のネットワークとよなか」。循環の中心にあるのは「とよっぴー」と呼ばれる、市民の宝物だ。

以 来「花と緑のネットワークとよなか」は、とよっぴーを市民に広める活動を続けてきた。けれどその歩みは順風満帆だったわけではない、と中村さん。「当団体が設立した2004年頃は生ゴミをリサイクルしたい肥はまだ馴染みが薄く、私達の最大の使命は、とよっぴーの意義を人々に理解してもらうことでした」
広く市民にとよっぴーの魅力を発信するために、団体は実際にバラエティ豊かな活動を展開している。例えば「花いっぱい運動」。花や緑を育てている団体に、とよっぴーを無料配布したり、市と連携して種をプレゼントしたり。とよっぴーの認知度がアップすると共に、地域も美しくなるという一石二鳥の取り組みだ。
また年に一度の「とよっぴー祭り」は、たい肥化施設の敷地内で行われるお楽しみイベント。施設やとよっぴーに対する理解促進のために近隣住民を招待して開催してきたが、昨年で10回目を迎えた。さらには市内の幼稚園や小中学校に、毎年100kgのとよっぴーを配布すると共に、米づくりなどの環境学習を支援している。「子ども達は、自分の食べ残した給食が、再び米や野菜を育てるたい肥となることを知ります。とよっぴーは最高の食育教材といえるでしょう」と。他にも、生「ミミたい肥化の講習会や、団体が管理する」とよっぴー農園」での農業体験事業も定期的に開催。地道で多彩な取り組みが、とよっぴーの認知度と人気を少しずつ上昇させてきた。



6年間約120トンのとよっぴーが会員とボランティアによって袋詰めされ、配布・販売される。789「緑と食品のリサイクルプラザ」の敷地内で、2005年から毎年開催されてきた「とよっぴー祭り」。とよっぴーの製造施設を見学するほか、トラクターに乗る体験や餅つき大会を楽しんだり、サツマイモを掘ったり、飲食コーナーがあったり。とよっぴーで作った野菜の販売も。昨年は約1,500人が訪れた。10小学校における環境学習支援。スタッフが学校に赴き、教室での食育学習講座や、学校菜園つりのアドバイスをしている。11協力農家と連携した、地産地消活動。とよっぴーを活用した米や野菜を販売する市場を、各地で開催している。12「緑と食品のリサイクルプラザ」に併設する「とよっぴー農園」は約1,000㎡の畑。ここで作物の栽培や収穫など、市民の農業体験イベントを積極的に行っている。



1とよっぴーの製造施設がある「緑と食品のリサイクルプラザ」。ここに給食の調理くずと食べ残しが運ばれ、街路樹のチップと混ぜて発酵・熟成させる。製造施設は2016年4月にリニューアルされたばかり。2豊中市の給食センターから回収されてきた残パン。3攪拌したものを発酵させる「熟成槽」。70℃まで温度が上がるので雑菌なども死滅するという。4袋詰めされた、とよっぴー。農家や学校等へ無料配布する分を除き、市民へ有料頒布している。10kg 200円と格安なもの人気の理由。5代表の高島邦子さん(左)と、事務局の中村義世さん(右)。団体設立当初から活動を支えてこられたお二人である。



特定非営利活動法人 花と緑のネットワークとよなか

事業を推進する正会員や市民サポーターを募集中。「とよっぴー倶楽部」への入会、もしくは袋詰めやイベントをお手伝いするボランティアも大歓迎です。

〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚
1-24-20 豊中市立環境交流センター内
TEL: 06-6844-8611

E-mail: ecotoyo_nakamura@yahoo.co.jp
H P: <http://toyoppy.jp/>
ブログ: <http://toyoppy.jp/category/blog/>

と よっぴーの利用者は、一般市民だけではない。周辺の農家にとよっぴーを配布して使い心地を試してもらったところ、最初はたい肥に戸惑いもあった農家の人々も、今では時間をかけて自然発酵させたとよっぴーの良さを評価しているという。「とよっぴーが生まれて14年、クレームらしいものはありません。むしろ、土が柔らかくなった。大きな作物が育つようになった」と喜びの声が多いんです」
様々な努力の甲斐あって、今ではすっかり市民生活に根づいたとよっぴー。月に2回の有料頒布日には、ずらりと行列ができるのだとか。代表の高島邦子さんは語る。「とよっぴーを使うことで、無駄なものなど何もないというリサイクルの心に触れて欲しい。食べ残しが当たり前になっていく自分の暮らしを見つめ直してほしい。いつか豊中市の食べ残しがゼロになって、とよっぴーが作れなくなったら、それこそ本望です」

豊 中市民の間で、大人気の「とよっぴー」をご存じだろうか。ご当地キャラではない。野菜や植物を育む土の栄養となる、たい肥(土壌改良材)の愛称である。とよっぴーの材料となるのは、小学校給食の調理くずや食べ残し。そこに街路樹の剪定材から作ったチップを混ぜ込み、攪拌と発酵熟成を繰り返しながら約3か月。化学物質を使わない、資源循環たい肥となる。年間約120トン生み出される。とよっぴーは、市民の菜園等に活用され、豊中市の資源循環のシンボルとして人々に愛されているのだ。
そんなとよっぴーはどのように誕生したのだろうか?「もともとは市民と市職員らの、生ゴミたい肥化プロジェクトの実験から始まりました」と語るのはNPO法人「花と緑のネットワークとよなか」の事務局長、中村義世さん。「市が官民一体の環境保全への取り組みを開始したのが1996年。その中に、生ゴミをたい肥に変える実験があったのです。その後、単発の実験だけで終わらせるのは惜しい」と市民が働きかけ、様々な検討を経て新規事業としてたい肥化施設が建設されました。こうして2002年、とよっぴーが誕生したのである。この時、市が製造したとよっぴーの活用は市民が担うことになった。「そこで、プロジェクトに関わっていた市民で、全てのとよっぴーの活用を一手に引き受けるNPO法人を設立しました。それが私達です」

series
62

アユも人もここに集え! 豊かな芥川をもう一度。



芥川には
こいも、あゆも
のぼる。



アユの観察会や魚取り講座など、川遊びを満喫できるPRイベントも盛ん。

NPO法人 芥川倶楽部

E-mail: akutagawa0726@yahoo.co.jp
URL: http://akutagawaclub.web.fc2.com

高槻市を流れる一級河川、芥川。毎年春に「こいのぼりフェスタ」が開催されるこの川に、もうひとつのシンボルを作ろうとしているのが、2008年に設立された「芥川倶楽部」だ。

1960年代に水質汚染が問題視された芥川も、その後の排水規制等で水質は改善している。しかし、今の芥川は以前の「いのち」と「いこい」にあふれる豊かな川とは違う。そんな状況を変えようと、団体が着手したのがアユが遡上できる河川づくり。アユが戻

れる魚みちができれば、他の生き物も戻ってくるという発想からだ。手作業で土嚢を積んで実験的につくった魚みちの遡上効果が認められ、2011年には国交省により本格的な魚みちが設置された。結果、アユだけでなくボラやモズガニ等も芥川を遡上するようになってきた。今後は環境を維持するだけでなく、地域高齢者による芥川の昔語りも計画。美しい芥川を次代に伝えることで、アユだけでなく人も芥川に呼び戻すべく…団体の活動は続いていく。

series
63

見たい、知りたい、学びたい。 こどもの“したい”に応えるオルタナティブスクール。

既存の学校教育とは違うカタチの教育機関として注目されている「オルタナティブスクール」をご存知だろうか。「箕面こどもの森学園」もそのひとつ。主体性を尊重しつつ、学ぶ力を育むことを重視した教育を展開している。

ここでは一律のカリキュラムではなく、こどもが自分で決めた時間割で学習を進める。哲学に触れたり、環境について話し合ったり、食のフィールドワークをしたり…こども達は自由な好奇心を知識に変えていく。さらにグループ学習や発表会など、自他の意見を交わし合う機会も多く、自主性と共にコミュニケーション能力や協調性も身につけることができる。

個性を伸ばせる教育スタイルのもと、こども達は自分と向き合いながらいきいきと学んでいる。2015年には中学部が開設されるとともに、ユネスコスクール※の認定も受け、新たな教育の場としてますます期待が寄せられている。

※ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校として、Associated Schools Project Networkへの加盟が承認された学校。

通学することも地元の公立学校にも在籍することで、在籍校での卒業資格が認められる。

認定NPO法人 箕面こどもの森学園

住所: 〒562-0032大阪府箕面市小野原西6-15-31
TEL: 072-735-7676
E-mail: info@kodomonono-mori.com
URL: http://kodomonono-mori.com



好きなカタチ
で学ぶ。

series
61

ひとり親家庭の困りごとに応える アットホームな学習塾。

日本のこどもの貧困率※は16.3%、だがその割合はひとり親家庭に限ると54.6%と激増する。経済的困難は不十分な衣食住だけでなく、自己評価の低さや低学力につながり得る問題だが、そんな不安定な日常を送るこども達を支えつつ、前向きな進路選択をサポートする塾を運営するのが「あっとすくーる」だ。

塾の名は渡塾。代表の渡剛さんは、ご自身がひとり親家庭で育ち、経済的にも精神的にも厳しい中高生時代を過ごしたと言う。「だからでしょうか、いろんな“しんどさ”を抱えるこども達の無力感や見えない困りごとを何とかしたかったんです。学力を高めて希望の進路を叶えることは、未来を切り拓く武器になると思うので」

渡塾では、ひとり親家庭のこどもは授業料が半額。生徒2人に講師1人がつく、マンツーマンに近い指導で、週数回の授業以外に自習室が自由に使える。こんな環境ならさぞ勉強が進むだろう…と思いきや、心のもやもやを抱えたこどもが「勉強したくない」「やる気が出ない」と吐露することもあるとか。そんな発言もまずは肯定するのが渡塾のやり方だ。

「否定をしないことが私たちのモットー。やりたくないと言われても、まずその気持ちを受け入れてみる。なぜそう思うのか考えて、次の一言をかけるんです。じゃあ今日はよそうか、でも1問だけでもやらへん?って」。気持ちの波に寄り添ってこどもの心を解きほぐしながら、勉強する気持ちを後押ししてくれるせいだろうか。こは勉強もできる家みたい、と言われることも多いとか。講師は



「学びたい気持ち」
が学費です。

全て大学生。研修を受けて団体の価値観を共有し、OJT形式で学びながら生徒と関わっている。大学生を採用するのはこれからの社会を担う若い人材であるからだ。どんなこどもも、生まれ育った環境に左右されず前向きに人生を歩んでいける。そんな社会を作るため、あっとすくーるはこども達の力を伸ばしつつ、活動の理解者を増やしている。

※18歳未満のこどものうち、世帯所得から計算した国民一人ひとりの手取り収入が、中央値(金額順に並べたとき、真ん中になる額)の半分に満たない人の割合をいう。



ひとり親家庭のこどもを対象にした奨学金制度を運用。寄付金を原資にした返還不要の奨学金で、意欲のあるこどもに学習機会を提供。

特定非営利活動法人 あっとすくーる

奨学金制度実施のための寄付を募集中です。一部キャリアのスマートフォン利用料と合わせた寄付や、クレジットカードでの寄付も対応可。詳細はウェブサイトをご覧のうえお問合せください。

住所: 〒562-0003 箕面市西小路2-7-22MKM友ビル301
TEL: 072-702-0020
E-mail: info@atto-school.com
URL: http://atto-school.jimdo.com/

グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが3万円を支援する「ゆめ・まち“ええこと”応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2016年度
vol.2



阪急電鉄OB
北川 信一さん
シルバー
アドバイザー-高槻
/高槻市

クラフト制作を通じて 子ども達に無限の創造力を。

シルバーアドバイザー-高槻では、高齢者が中心となり地域に密着したボランティア活動をしています。その一環として、小学校や支援学校、イベント会場などでクラフトと呼ばれるおもちゃを子ども達と一緒に作っています。牛乳パックやペットボトルなどの身近な材料を使った風車やコマ、車など…皆、目を輝かせて取り組んでいます。手作りのおもちゃが新鮮なのでしょうか、完成品で遊ぶ時ももう夢中。こちらまで笑顔になります。子ども達が“手作業の喜び”を知り、創造性を伸ばすお手伝いができれば嬉しく思います。



大阪府高齢者大学のシルバーアドバイザー-養成講座の修了者が、それぞれの特技を活かして活動しています。



福井サン・ボーイ スポーツ少年団

/茨木市

支援金で大会参加数を維持でき、活気のある少年野球チームに。父兄からは感謝の声が!

阪急電鉄
柏木 隆弘さん



緑丘ミニバスケット ボールクラブ

/伊丹市

支援金で遠征に行きました。スポーツを通じた「次世代育成」を支えてくださる制度に感謝!

阪急阪神
ハイセキュリティサービス
上田 千晴さん

日本ボーイスカウト 堺第4団/堺市

支援のおかげで資金の負担が軽減。キャンプ活動の備品を新調することができました。

アイテック阪急阪神
井阪 宣之さん



フォルテFC/豊中市

サッカーを通じた子どもの成長をボランティアがサポート。地域のチームへの支援に感謝しています。

阪急バス
倉内 光一さん



NPO法人 Juvenile Education Society

/神戸市

こども会のリーダーを養成し、支援金を未来を担う世代のために役立てています。

阪急電鉄
田中 成明さん



下坂部ボーイズ

/尼崎市

支援金で購入した道具を通して、物を大切にすることや人に感謝する心も育成する野球チームです。

阪神電気鉄道
山口 豊和さん



富士山の清掃登山は、埋められた不法投棄ゴミも掘り起こして撤去。「活動4年目くらいから賛同者が少しずつ増え、継続の大切さを感じた」と野口さんは語る。

Social People Interview

アルピニスト 野口 健さん

環境問題は人間社会が相手 現地で共に考える努力を

エベレストや富士山のゴミ問題に早くから取り組み、国内外の震災復興支援にも尽力するアルピニストの野口健さん。その活動スタイルや原動力とは?

エベレストの 知られざる二面

美しいエベレストですが、とても人間臭いところでもあります。死と隣り合わせの極限状態が、人のいろいろな面を映し出すんですね。登山隊の隊員同士のトラブルや物の盗難、そしてゴミの山。僕が登つ

た90年代後半は、なかでも日本隊のゴミが多く、同じ隊の西洋人から言われたのが「日本人のマナーは三流」。それが悔しくて、登頂翌年の2000年からエベレストと富士山で清掃登山を始めました。ただ、山登りは苦しくても登頂というご褒美がありますが、清掃登山にはそれがなく、ゴミを拾ったら登頂せずに下山します。加えて、イメージを壊したくない山岳会や観光関係者から猛反発。環境問題で向き合う相手は、自然ではなく人間社会だと痛感しました。

続ける中での 嬉しい変化

環境活動は自分だけでやるには限界があります。そこで一緒にやってくれる仲間を増やそうと、小学生から大学生を対象に「野口健環境学校」を全国で開校してきました。

た。体験や知識を自ら発信できる環境メッセンジャーを育てるのが目的です。こともあって、現場を見れば何をすべきかが感覚でわかるんですね。そしてすぐにアクションを起こす。10年以上続けてきて思うのは、大人はそのきっかけを与えてあげるだけでいいということ。

例えば昨年、岡山のことでも達から「地震で困っているネパールの人に渡して欲しい」と義援金を預かりました。というのも、昨年4月のネパール大地震のとき、たまたま現地に滞在していた僕は大きな被害を目の当たりにした僕はすぐに「ヒマラヤ大震災基金」を立ち上げ、以来、何とか力になろうと支援活動が続けていたんです。それを知った子ども達がお金を集めるための知恵を絞り、空き缶を拾ってお金に換える募金活動をしてくれたそうなんです。彼らの行動力や発想力には本当に驚かされます。

ボランティアは 自分自身も楽しむ

ボランティアは現場に行くことが大事だと思います。この4月、熊本大地震でテント村プロジェクトを立ち上げましたが、車中泊が続いていた方達から「ようやく横になれる」と涙を流して喜ばれました。これは僕自身の喜びであり原動力。準備の大変さなんて吹き飛びます。それと、社会貢献はこうあるべきとガチガチになりすぎないことも大事。人は立場が違えば考え方も違います。僕は活動に煮詰まると、そこから一旦離れて他の活動にウエイトを置くようにしています。それでもしんどければヒマラヤに。苦しいけどだど続かないし、人の心は簡単に折れますから。うまくリフレッシュして活動を続けると、苦しいことはすぐ忘れられます。その代わりに残るのが、次につながる何かなんです。

Profile 1973年、アメリカ・ポストン生まれ。1999年エベレスト登頂に成功し、7大陸最高峰世界最年少登頂記録を25歳で樹立。その後、富士山やエベレストでの清掃活動、「シェルパ基金」「野口健環境学校」「ヒマラヤ大震災基金」「熊本地震支援テント村プロジェクト」などを実施。さらには今後はネパール・マナスルで森の再生のための活動にも力を入れていく。

市民団体の活動参加のススメ

File 15 若者ひとりひとりが輝ける未来を創る ボランティアスタッフ募集中

未来について本気で考える若者が夢を見つけ、また想いを共有する企業と出会える場が「未来価値創造大学校〈大阪校〉」です。入学資格の第一条件は「勇気・本気・やる気」。今までの教育に馴染めなかったり、経済的理由で進学を諦めた人も、再挑戦できるフリースクール。応援して下さるボランティアスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。



お問合せ先：未来価値創造大学校事務局
TEL：06-6479-1302 (NPO法人 ディープビーブル内)
Mail：info@miraikachi.jp URL：http://www.miraikachi.jp/

File 16 菜園教室と環境学習で 土や野菜、微生物と仲良くなる

子ども達とその家族が無農薬で野菜を育て、土の中にある微生物について学んだり、できた作物を料理して食べる「菜園教室」の会員を募集。種や苗、たい肥等は当会で負担し、学習会で作り方も指導。



日時(学習会)：第2、第4土曜日。9:00~11:00(雨天決行)
場所：茨木市若園町6 南中学校西隣の農地
参加費：月2,500円(年間契約が原則)

※菜園体験も受付中。1家族1,000円(野菜のお土産付き)。※開催日等
は変更の場合あり。まずはご連絡を!※菜園活動のボランティアも募集中!

お問合せ先：特定非営利活動法人 地球環境再生機構
TEL：072-638-2212
Mail：info-m1@save-planet1.org URL：http://save-planet1.org/